

1年生 集団宿泊教室

5月15日から16日にかけて、あしきた青少年の家で1年生が1泊2日の研修を行いました。今回の集団宿泊教室の目的は、①集団生活を通して教師と生徒、生徒相互の交流を深める。②中学校生活を始めるにあたり、集団生活の規律を重んじる姿勢に気付き、集団行動の訓練を積む。であり、このことを達成するために、コンパスオリエンテーリング、集団行動(クラスマッチ)、ドミノ、学年集会(学年目標作成)、マリン活動(ペーロン)などの活動を行いました。

コンパスオリエンテーリングでは、班によっては協力がうまくいかず不満の声も聞かれましたが、その事を反省として、次の活動では改善していこうという意識が高まりました。

集団行動(クラスマッチ)では、最初は足がそろわなかったり、指先まで神経が行き届かなかったりしていましたが、リーダーを中心に学級での練習を重ねるうちに、全体がそろいキビキビとして行動ができるようになりました。

ドミノ倒しでは、時間が足りず、計画した通りのものではできなかったのですが、班で協力する姿が見られました。途中でドミノが倒れても、すぐにやり直すなど粘り強い活動ができました。

マリン活動(ペーロン)では、向かい風の時はなかなか前に進まず苦労しましたが、みんなで声をそろえて漕がないと前には進まず、協力をすることの大切さを学ぶことができました。

1泊2日という短い宿泊教室ではありましたが、今後の学校生活や社会生活の基盤づくりとなる研修となりました。



▲入所式



▲コンパスオリエンテーリング



▲ドミノ倒し



▲夕食



▲朝の集い



▲マリン活動(ペーロン)

あしながPウォーク10

5月12日、河川敷スポーツ公園をスタート・ゴールとして、あしながPウォーク10(九州スリーデーマーチ共催)が行われ、3年生を中心に生徒約50人が参加しました。あしながPウォーク10とは、病気や災害などで親を亡くした子どもたちへの進学支援のために、参加者と協賛企業があしなが育英会に寄附を行うものです。

今回は、2年生が修学旅行明け、部活動の大会などと重なり、例年より参加者は少なかったのですが、素晴らしい天候の下、10kmを歩くことができました。



▲出発式



▲10km完歩しました

2年生 修学旅行

5月8日から11日にかけて、2年生が沖縄に3泊4日の修学旅行に出かけました。沖縄修学旅行の目的である①戦争を許さず、平和を希求する心情を養う。②沖縄の自然・文化・産業に触れ、体験する。③集団生活を通して、公衆道徳・マナーを身に付ける。④民泊体験を通して、交流を深めるとともに家庭生活を見つめ直し、故郷に誇りを持つ。という4つの目的の下、思い出に残る素晴らしい体験活動を行うことができました。

1日目

主に第二次世界大戦で大きな犠牲を払われた戦跡(糸数アブチラガマ・平和記念資料館・平和の礎・ひめゆりの塔など)を巡り、戦争の悲惨さを肌で体験するとともに、平和の大切さを改めて実感させられました。特に、夕食後に行われた平和講話では、白梅学徒隊で生存された中山さんのお話を聞くことが出来ました。講話の中で特に心に残ったことは、「私たちは生かされている。」という言葉でした。

「一緒に動員され戦場で亡くなった同級生を思うとそのように感じる。ご遺族の方に会うと生き残ってしまって申し訳ない思いがある。」のだそうです。最後に生徒の代表がお礼の言葉を述べると、中山さんは、生徒の手をとり「バトンはあなたたち若い人に渡しましたよ。」とおっしゃいました。平和を守る「使命」が私たちに引き継がれた瞬間だと思うとともに、責任の重さを感じました。



▲平和の礎見学



▲平和講話

2日目

午前に琉球王国時代の王宮である首里城に出かけました。朱塗りの建物や展示物を見学し、沖縄の伝統・文化に触れることができました。現在の首里城は戦争で焼失したものを、本土復帰20年となる1992年に記念して復元され、世界遺産にも登録されているそうです。また、午後には美ら海水族館に行き、沖縄の海や生き物の様子を学ぶことができました。ジンベエザメやマンタの泳ぐ様子や食事風景、さまざまな色をした魚たちや珊瑚など、後世に残さなければならない自然遺産だと感じました。



▲首里城見学



▲美ら海水族館

3日目

本部港よりフェリーで伊江島に渡り、民泊を行いました。雨が心配されましたが、伊江島に渡った後は降ることもなく、生徒たちはそれぞれの民泊先で沖縄の文化や習慣などを体験しました。サトウキビから黒糖を作ったり、三線や琉球舞踊を習ったり、沖縄料理を作ったり、島内観光をするなど、有意義な活動ができたようです。伊江島の人と別れるときの生徒たちの涙から、民泊体験が生徒の心に「大きな宝物」を残したと確信しました。



▲伊江島にまた来ます!



▲黒糖づくり

4日目

退村式を行い、フェリーで名残を惜しみながら伊江島を後にしました。その後、国際通りをグループごとに散策しました。普段見ることのできない珍しいお土産を買ったりして、楽しい一時を過ごしたようです。